



2023年版
ねんばん

＼減らそう！／
やくざいたいせい

薬剤耐性

やくざいたいせい
薬剤耐性(AMR)を防ぐために
わたし
私たちができること



せいさく ない かくかんぼう ない かくかんせんしょう ききかんりとうかつちょう
制作：内閣官房内閣感染症危機管理統括庁

Q.1

やくざいたいせいなん 薬剤耐性(AMR)って何ですか?

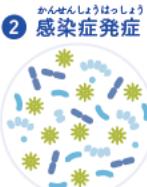
A. ひと ひと びょう き かんせんしょう い
人から人にうつす病気（「感染症」と言います。）を
ひ お さい きん さい きん たい じ くすり こう きん やく
引き起こす細菌に、細菌を退治する薬（「抗菌薬
こう せい ぶっしつ い き
（抗生素質）」と言います。）が効かなくなることです。

からだなかはいさいきんかんせんじょうひおときいしかんじやびょうじょう
体の中に入った細菌が感染症を引き起こした時には、細菌が患者の病状にあわせてだした
こうきんやくこうせいぶっしつのなまかんせんじょうひおさいきんびょうげんなんい
抗菌薬(抗生物質)を飲んで治します。しかし、感染症を引き起こす細菌(「病原菌」と言いま
からだなかがいさいきんいつしょたいじときびょうげんきん
す。)だけでなく、体の中にいる害のない細菌と一緒に退治してしまいます。その時に病原菌
こうきんやくこうせいぶっしつたいたいせいさいきんやくさいたいせいきんい
が、抗菌薬(抗生物質)に対して耐性をもった細菌(「薬剤耐性菌」と言います。)に変わること
まわほかさいきんかんじまうやくざいたいせいきんふ
があります。そして、周囲に他の細菌がいなくなりすみやすくなつた環境で、薬剤耐性菌が増
こうかこうきんやくこうせいぶっしつびょうげんきんき
えてしまい、もともと効果があったはずの抗菌薬(抗生物質)が病原菌に効きにくくなります。

やくざいたいせいう 薬剤耐性が生まれるまで



からだなかさまざま
体の中には様々な
がいさいきん
害のない細菌が
たくさんいます



病原菌が増えて
感染症を発症します



びょうけんきん いつしょ からだ
病原菌と一緒に体に
がい さいきん
害のない細菌も
たいじ 退治します

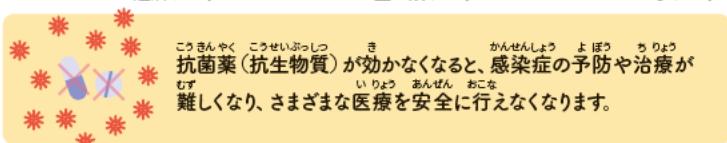


病原菌が変化して
生まれた薬剤耐性菌が
生き残ります



からだなかやくざいたいせきん
体の中に薬剤耐性菌が
じょうたい
たくさんいる状態に
なります

こうさんやく こうせいぶつしつ き かんせんしょう よ ぼう ちりょう
抗菌薬(抗生素質)が効かなくなると、感染症の予防や治療がむずかしくなり、さまざまな医療を安全に行えなくなります。



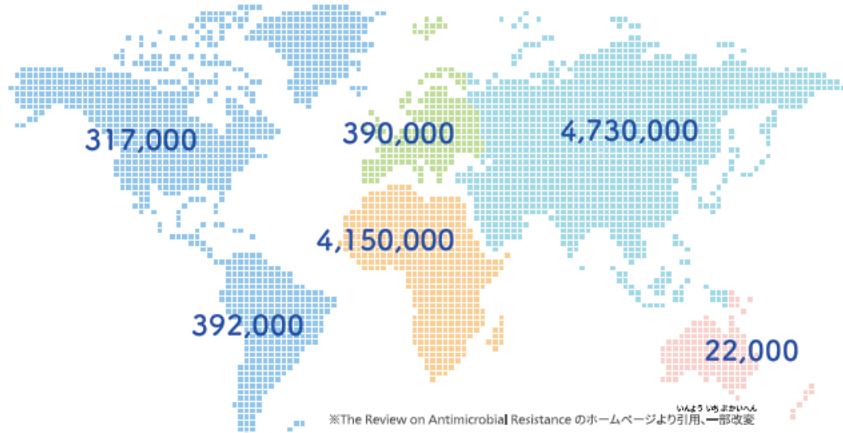
Q.2

やくざいたいせい
えいきょう
薬剤耐性でどんな影響がありますか？

いまなんたいさく
今のまま何も対策をしなければ、約30年後には
**A. 薬剤耐性で1,000万人が死ぬとみられ、
がんで死ぬ人数を超えます。**

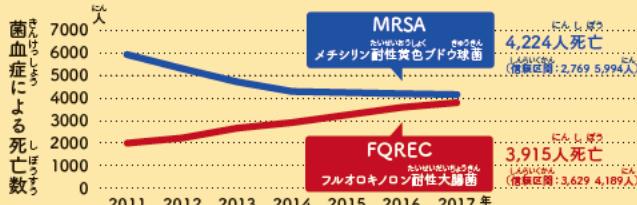
やくざいたいせい
薬剤耐性によって死ぬ人の数は世界で年間約127万人になります（2019年時点）。また、
ねんじてん なにたいさく ねん やくざいたいせい まんにん
2013年時点では、何も対策をしなかったら、2050年には世界で約1,000万人が死ぬと言わ
れています。
せかいほけんきかん そうかい ねん やくざいたいせい かん こくさいこうどうけいかく き に
世界保健機関（WHO）総会で、2015年に薬剤耐性に関する国際行動計画が決められ、日
ほん やくざいたいせい もんだいとく ねん やくざいたいせい たいさく
本でも薬剤耐性の問題を取り組むため2016年に薬剤耐性（AMR）対策アクションプランが
つく やくざいたいせい たいさく すす ねん あら
作されました。また、薬剤耐性（AMR）対策を進めていくために、2023年に新たなプランが
づく 作られています。

薬剤耐性による予想死亡者数（2050年）



※The Review on Antimicrobial Resistance のホームページより引用、一部改変

にほん しゅうりいやくざいたいせいきん かんせんじょう ねんかん にんしほう
日本では2種類の薬剤耐性菌の感染症で年間8,000人が死亡しています。



Q.3

こう きん やく こう せい ぶっしつ か ぜ なお 抗菌薬(抗生素質)で風邪は治りますか?

A. 抗菌薬(抗生素質)は「ウイルス」が原因である
風邪やインフルエンザなどには効果がありません。

抗菌薬(抗生素質)は「細菌」に効果があり、風邪やインフルエンザなどの原因となる「ウイルス」には効果がありません。

風邪になったからといって、抗菌薬(抗生素質)を間違って飲んでしまうと、効果がないだけでなく、お腹をくだしたり、食べたものを吐いたり、皮膚になにか変なものができたりする可能性があり、より薬剤耐性菌発生の危険性が高まります。



細菌とウイルスは、大きさ、構造、増え方などが異なります。
抗菌薬(抗生素質)は細菌に効果のある薬です。

抗菌薬(抗生素質)はウイルスが原因の病気には効果がありません。
風邪の時に抗菌薬(抗生素質)を飲んでよくなってきたなど感じたなら、
それは抗菌薬(抗生素質)の効果ではなく、もともとある体を守る力で
ウイルスをやっつけたからかもしれません。



Q.4

やく ざい たい せい きん ふ 薬剤耐性菌を増やさないために たい せつ なん 大切なことは何でしょうか？

- ひつ よう
必要がないとき、抗菌薬（抗生物質）を飲まないように
A. し、抗菌薬（抗生物質）をだされたら医師の指示どおりに飲むことが大切です。

こう きん やく こう せい ぶっしつ
抗菌薬（抗生物質）はすべての病気を治す薬ではありません。必要なない抗菌薬（抗生
ぶっしつ の ひと
物質）を飲まない・人からもらわないようにしてください。
いし からだ あ
また、医師はあなたの体に合わせた抗菌薬（抗生物質）をだしています。だされた抗菌
やく こう せい ぶっしつ いし じ
薬（抗生物質）は、医師の指示どおりに飲むことが重要です。

こう きん やく こう せい ぶっしつ ただ の
抗菌薬（抗生物質）は正しく飲みましょう



こう きん やく こう せい ぶっしつ
抗菌薬（抗生物質）は
いし し じ の
医師の指示どおり飲みましょう



こう きん やく こう せい ぶっしつ
抗菌薬（抗生物質）は
あま 余らせたりとておかない



みずか こう きん やく こう せい ぶっしつ
自ら抗菌薬（抗生物質）を
きほう 希望しない



こう きん やく こう せい ぶっしつ
抗菌薬（抗生物質）を
あげたりもらったりしない

Q.5

すぐにできる対策はないのでしょうか？

A. 感染症を予防することで、薬剤耐性の予防にもつながります。

今日からすぐにできる感染症予防策！

手洗い



「まずは手洗い」を毎日しましょう！

私たちの手には、目には見えないたくさんの菌がついていて、私たちには気が付かないうちに菌がついていたり、運んだりしています。手洗いは、感染を起こす経路を断ち切るためにとても効果があります。



咳エチケット*



咳や鼻水が出るときはマスクをしましょう。
原因のないようにあごまですっぽり隠れるように付けます。
とっさのときは、ハンカチ等で口と鼻を覆いましょう。

*咳をするときに気をつけること

ワクチン接種



感染症にはワクチンで予防できるもののがたくさんあります。ワクチンを打っておくと、その感染症を引き起こす細菌やウイルスに対して抵抗する力ができます。病気になりにくかったり、症状が軽く済んだりします。



ひつよう こうさんやく こうせいぶつしつ つか
必要のない抗菌薬（抗生物質）を使わないことが、薬剤耐性の予防になります。
まいにちて あら こころ ひつよう う かんせんじょう よ ぼう
毎日手洗いを心がけ、必要なワクチンはきちんと打ち、感染症を予防しましょう。



Q.6

やくざいたいせいひと もんだい 薬剤耐性は人だけの問題でしょうか？

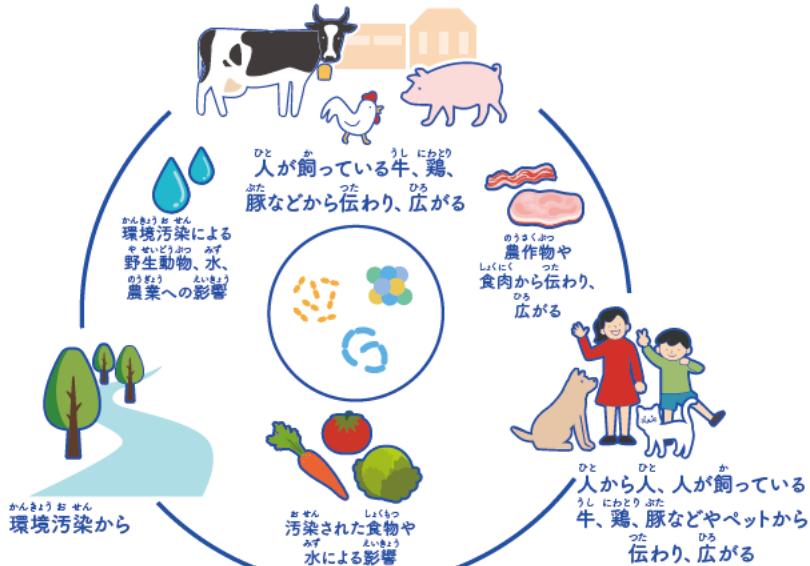
こうせんやく こうせいぶっしつ ところつか 抗菌薬(抗生物質)はあらゆる所で使われているため、 A. 食品などを通じて薬剤耐性菌が広がってしまう可 能性があります。

こうきんやく こうせいぶっしつ ひとどうぶつ いりょういがい ひとかうしにわとりぶたひとそだ
抗菌薬(抗生物質)は人や動物の医療以外にも、人が飼っている牛、鶏、豚、人が育て
かこうさかなかいそうひとそだ こもつやさいくだものところつか
たり加工した魚や海藻、人が育てている穀物、野菜、果物などあらゆる所で使われてい
やくざいたいせいもいんし かんようしようひん ひとどうぶつひろかのうせい
ます。薬剤耐性を持つ遺伝子が環境や食品を通じて、人や動物へ広がる可能性がある

ともいわれています。

やくざいたいせいひともんだい どうぶつけんこうかんきょうほごき
薬剤耐性は人だけの問題ではありません。動物の健康や環境の保護にも気をつけて、
かかぶんやひときょうりょくかだいかいけつかんがかた
それらに関わるいろいろな分野の人たちが協力して課題解決をしていく考え方を「ワン
ヘルス・アプローチ」といいます。

つたひろやくざいたいせいきん 伝わり、広がる薬剤耐性菌



わたし まわ かいはつ せいたいけい かんきょう はかい きこうへんどう えきょう
私たちの周りでは、開発による生態系や、環境の破壊、気候変動による影響、
けいざい しゃかいてきはい かだい わたし
経済や社会的背景などいろいろな課題があります。私たちも「ワンヘルス」の
りねん もと みなとくいひつよ
理念に基づいて、皆で取り組んで行く必要があります。



くすり いし しじ りょう
「薬は、医師に指示された量と
ほう ほう まも の
方法を守って飲むこと」

こう きん やく こう せい ぶっしつ つか み らい
抗菌薬(抗生素質)が使うことができる未来のために
わたし
私たちができること



みんなの「気づき」で、救われる未来がある。

抗菌薬(抗生素質)を、医師に指示された量と方法を守って飲まなかつたら、
ほんどう びょうやく なお ひつよう とき き
本当に病気やけがを治すことが必要な時に効かなくなることがあります。
いま ただ こうきん やく こう せい ぶっしつ の しゅうかん み
今から正しく抗菌薬(抗生素質)を飲む習慣を身につけましょう。
ただ ちしき み たいせつ ひと
正しい知識を身につけることが、あなたやあなたの大切な人の
けんこう まも たいせつ ひと
健康を守ることにつながります。

やく ざい たい せい たい さく し かた
「薬剤耐性(AMR)対策について」知りたい方へ



ないかくかんぼうないかくかんせんしようきかんりどうかつちょう
内閣官房内閣感染症危機管理統括庁

ホームページ

ないかくかんぼうないかくかんせんしようきかんりどうかつちょう
内閣官房内閣感染症危機管理統括庁

ふきゅうけいはつどう が
普及啓発動画

せい さく きょうりょく
制作協力:

こくりつけんきゅうかいはっぽうじん こくりつこくさいいりょうけんきゅう
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
りん しょう
AMR臨床リファレンスセンター